



PROGRAM 01

雲上の大自然を体感！ 黒部ダムについても学ぼう

立山黒部アルペンルート

立山黒部アルペンルートは標高3,000m級の峰々が連なる北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルートです。総延長37.2km、最大高低差は1,975m。そのほぼ全区間が中部山岳国立公園内にあります。富山県側の立山町「立山駅」から長野県側の大町市「扇沢駅」まで乗り物を使い継ぎ、いくつもの景勝地を通して、雲上に広がる立山黒部の雄大な大自然を満喫することができます。

自然環境保全の取り組みを学ぶ

立山黒部一帯は、自然公園法による中部山岳国立公園の特別保護地区及び特別地域に含まれる。一貫して自然保護と環境保全を最優先課題に掲げ、立山の大自然を永久に守り伝えるための努力が続けている。

日本最大級の電源開発事業「黒部ダム」を知る

戦後、深刻な関西の電力不足を救うため関西電力が社運をかけて取り組んだ一世一代の大プロジェクト。今日ではスイッチを入れると電気を使えることが当たり前になっているが、そこに至る「くろよん」建設のさまざまな格闘と挑戦、秘境を切り開いた先人の苦難の歴史を学ぶ。

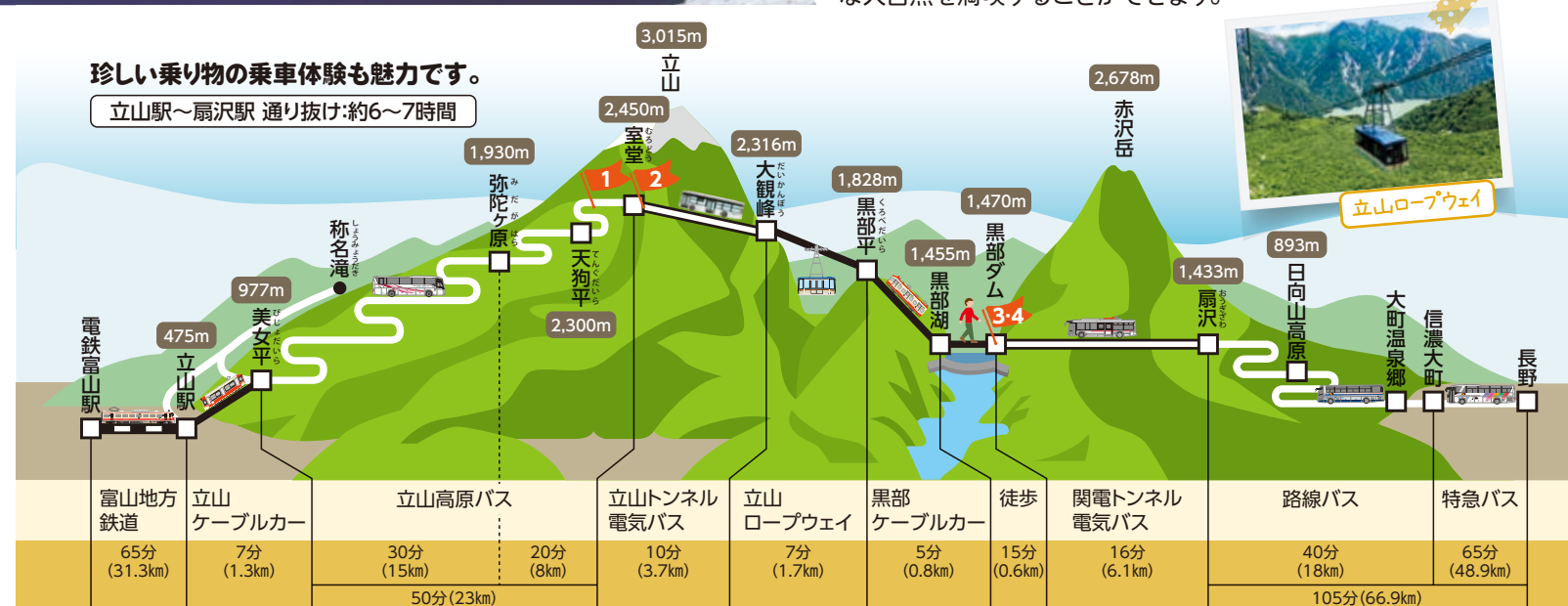
Time Schedule

（環境保全学習プラン例）	（電源開発学習プラン例）
所要時間：約2時間	所要時間：約2時間30分
立山自然保護センター見学 （晴天時30分・雨天時60分）	新展望広場特設会場見学（各30分）
雪の大谷・室堂平散策 （晴天時90分・雨天時60分）	黒部ダム見学（120分）

知識「立山トンネル電気バス」

トロリーバスから電気バスへ！

1971年の室堂～大観峰間営業開始当初は「ディーゼルバス」でしたがトンネル内に排出ガスが滞留したため、1996年には環境にやさしい乗り物として「トロリーバス」が導入されました。さらに2025年には、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境負荷を低減しながら高地での安定走行が可能な「電気バス」の導入が決定。電気バスは、なんと8台すべてが異なるラッピングデザインの車体！どれに乗れるかは当日のお楽しみです！



1 雪の大谷（4～6月）

毎年アルペンルート開通時に見ることができる巨大な雪の壁。積雪の多い年には高さ20mに！6月下旬頃までは500mほどの区間が歩行者に解放される「雪の大谷ウォーク」を実施。

2 立山自然保護センター

大型ジオラマや空撮映像などで立山の自然や地形を紹介。立山に生息する動植物や歴史、自然環境保全の取り組みについて学べる。

3 黒部ダム

高さ日本一、総貯水量2億m³（東京ドーム約160個分）と、国内最大級のスケールと迫力を体感できる。現地解説や黒部湖の湖畔散策など、学習テーマに応じた対応も可能（詳細要問合せ）。

4 特別公開 関電トンネル工事現場跡

約60年前の建設当時のまま保存されている素掘りのトンネルの中で当時の雰囲気を感じながら約20分間の建設記録映像を鑑賞できる（要予約）。

学習ポイント

学校での事前学習	現地学習	旅行後の事後学習
● 環境に配慮したアルペンルートの乗り物（電気バス、クリーンディーゼルバス）について調べる	● 来山客への美化意識啓発の取り組みを学ぶ	● 自然環境保全について、これから自分たちができることを話し合う
● 現在の日本のエネルギー問題や電源開発の歴史について調べる	● 黒部ダムの仕組みや歴史を学ぶ	● 電源開発にかかる歴史から、現在の日本のエネルギー問題について考える
● 立山に生息している高山植物、ライチョウの生態などについて調べる	● ライチョウ探しや高山植物の観察など、立山でしか見られないものを見る	● 立山特有の自然について、写真を交えたレポートをまとめる

Information

【立山黒部アルペンルート】

- 運賃／（立山駅～扇沢片道）おとな10,940円、こども5,480円
※学生団体割引あり。詳細は直接お問合せください。
- 受入可能期間／4月中旬～11月末
※乗り物の運行や各種イベント等は悪天候のため中止となる場合があります。
- 予約／団体でお越しの際には予約が必要になります。専用申込書が公式サイトからダウンロードできますので、必要事項を記入いただき、FAXにてお申し込みください。
- 問合せ／【立山黒部アルペンルート】立山黒部観光株式会社 営業推進部 販売センター 076-431-3144
【黒部ダム】株式会社関電アメニックスくろよん観光事業部 0261-23-0341

Access

北陸自動車道 立山ICから立山駅まで約40分